## 平成18年度 分野チェックリスト

分野名	みどり・環	分野 番号	2		
分野 担当部	環境清掃部	関連部	都市整備部	都市整備部	

	杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化						
番号	指標名	単位	指標値 目標値				
			15年度	16年度	17年度	22	年度末
1	杉並区の大気の状況(二酸化窒素の濃度)	ppm	0.040	0.037	0.036	0.03p <sub> </sub>	pm
2	区民一人あたりのごみ排出量	g/日	693	672	667	24年原 現状の	度 429g D40%減
3	リサイクル率		19.4	19.7	20.5	24年月	度 43%
4	4 公共施設の緑化面積		26.16 ha 5年ごとの調査			増大さ	させる
5	杉並区が美しいと思う人の割合	%	62.8	67.1	69.1	70%	
	指標の状況、定義は裏面をご覧ください。						

## 杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 1 東京都が15年10月から開始したデーゼル車規制の効果が徐々に現われてきていると思われる。さらに、18年度に予定されている規制基準の強化や国のより厳しい排気ガス規制による効果が期待できる。さらに、ロードプライシングなどの自動車通行量を減少させる公害防止対策を講じることがより効果的である。今後も、CNG車など低公害車番及促進などにより、大気汚染対策に取り組むことにより指標値を減少させていく。
- 2 一般廃棄物処理基本計画及びごみ半減プランの目標達成に向け、プラスチック製容器包装の分別収集等の事業を着実に進めている。17年度は、水害による廃棄物が約875t発生したと推計されるが、資源回収量の増加や区民のごみ減量努力等により、ごみ量の総量(可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみ)は減少した。そのため、17年度は前年度と比較しリサイクル率が向上し、区民1人あたりのごみ排出量は減少した。
- 3 23区では、リサイクルできないプラスチックを焼却して熱回収を行うサーマルリサイクルを20年度から実施する。 それに向けて、リサイクルできるプラスチック製容器包装やペットボトルの回収事業を推進していく。回収事業の推 進にあたっては、回収したものを選別・圧縮・梱包・保管する資源化施設が不可欠である。
- 4 14年度実施のみどりの実態調査による緑化率は17.4%である。本調査による区の緑被率も20%を達成した。これは、みどりを大切に守り育てる区民の協力なしには達成できない。今後も公共施設では屋上緑化や壁面緑化などに積極的に取り組む。そして新たな緑被率の目標25%を目指して区民とともに杉並区のみどりづくりに努めていく。
- 5 区民アンケートによる「杉並区が美しいと思う人の割合」は、13年度の29.1%から14年度には一挙に63.6%と大幅に増加し、目標の70%に向け、着実に数値を上げてきている。これは、15年10月に施行した「杉並区生活安全及び環境美化に関する条例」成果によるものと評価できるが、今後もキャンペーン等を行いながら環境美化の施策を積極的に推進していく。

	チェックリストの状況(参考)				
番号	名 称 定 義	関連データ(他自治体との比較等)			
1	杉並区の大気の状況(二酸化窒素の濃度) 杉並区役所測定質の二酸化窒素の測定値(定点測定) 二酸化炭素の1時間値の年平均値の合計(単位: ppm)	(単位:ppm)  14年度 15年度 16年度 17年度 日比谷 0.043 0.043 0.042 0.041 八幡山 0.038 0.040 0.042 0.039 区部平均 0.041 0.041 0.039 0.039 多摩平均 0.034 0.034 0.032 0.032			
2	1人1日(年間)あたりの排出ごみ量(家庭系) ごみ(可燃+不燃+粗大)÷杉並区の人口(10月1日現在、外国人を含む)÷365日 一般廃棄物処理基本計画のごみ減量に係る指標の一つ	23区 720g(17年度区収集量) 東京都 680g(16年度行政収集量。多摩地区は有害ごみも含む) 国 743g(15年度生活系ごみ量。資源量、直接持込量も含む) 【参考】 東京二十三区清掃一部事務組合:平成17年度ごみ量確定値 東京都環境局一般廃棄物対策課: 「東京都区市町村清掃事業年報 平成16年度」 環境省:「一般廃棄物処理事業実態調査 平成15年度」			
3	リサイクル率 {区資源回収量(資源の日 + ペットボトル拠点回収 + 布拠点回収) + 集団回収量 } ÷ {ごみ排出量 + 区資源回収量 + 集団回収量 } - 般廃棄物処理基本計画の算出方法による	23区 19.3%(17年度区収集量、資源は旧ルール 、 、集団回収、拠点回収、廃プラ回収、ペット集積所回収モデル事業)東京都 21.4%(16年度行政収集量。多摩地区は有害ごみも含む) 【参考】東京二十三区清掃一部事務組合:平成17年度ごみ量確定値東京都環境局一般廃棄物対策課:「東京都区市町村清掃事業年報 平成16年度」			
4	公共施設の緑化面積公園を除く公共施設の緑化率	近隣区との比較(他区との比較は緑化率で行なう) 練馬区(13年度調査) 11.2% 世田谷区(13年度調査) 20.8% 目黒区(16年度調査) 13.7%(区立施設のみ) 杉並区(14年度調査) 17.4%			
5	杉並区が美しいと思う人の割合 「杉並区区民意向調査」より	近隣区の住みやすさ等の調査 新宿区 住まい周辺の環境がよい(25.1%) 世田谷区 地域の生活環境がよい(48.3%) 練馬区 まちなみの美しさ(24.9%) いずれも平成16年度データ			
特記事項					